

## NPO法人 リアルタイム地震情報利用協議会 地震防災シンポジウム

### 『東日本大震災 - 私たちの失敗』

#### ～これからの大地震に備えて～

未曾有の大災害であった東日本大震災から6ヶ月、被災地では本格的な復旧・復興が始まりました。そこで、当協議会はこの大災害を教訓に、『東日本大震災 - 私たちの失敗』をメインテーマとして、これからの大地震に備えていただくために、シンポジウムを開催致します。

政府の地震調査委員会は6月、東日本大震災の影響で、立川断層帯（東京都）、双葉断層帯（宮城、福島県）、牛伏寺断層帯（長野県）の3つの活断層帯について、地震が発生する可能性が高まったという見解を示し、7月には、神奈川県の大磯半島にある3つの活断層帯で地震が起きる可能性が高まったと発表しています。

また、東海地震や東南海・南海地震との連動、首都直下地震の発生も懸念されており、我が国の地震に対する危機は益々高まりつつあります。

今回のシンポジウムでは、東日本大震災を教訓に、今後の大地震の可能性や防災について専門家に解説して頂き、これからの地震災害にいかに対応するかを皆様と共に考える機会にしたいと思います。

開催日時：平成23年10月18日（火曜日） 13:30～17:30

開催場所：日本財団ビル（東京都港区赤坂1丁目2番2号）

主催：NPO法人 リアルタイム地震情報利用協議会（REIC）

参加費：無料

申し込み：REIC ホームページ：<http://www.real-time.jp/>（参加申込フォームより）

締切り：平成23年10月14日 17:00（金曜日） 定員：200人

お問合せ：REIC 事務局 : 03-5366-2720 Fax : 03-5366-2740

#### プログラム

1	開会挨拶	REIC 会長 片山 恒雄	13:30～13:35
2	講演		
2.1	臨時災害放送局は被災地で何をしたか	宮城県山元町 災害FM放送 「りんごラジオ」アナウンサー 高橋 厚(元東北放送)	13:35～14:05
2.2	液状化被害に取り組む潮来市の現状	茨城県潮来市長 裕田 千春	14:05～14:20
2.3	緊急地震速報は役に立ったか	REIC 会員 (株)ホームサイズモーター 代表取締役 堀内 茂木	14:20～15:10
休憩			15:10～15:25
2.4	なぜ巨大地震は予知できなかったか	京都大学 名誉教授 愛知工業大学地域防災研究センター 客員教授 入倉 孝次郎	15:25～16:25
2.5	将来大都市に待ちうける震災は	関西大学 社会安全学部長・ 社会安全研究科長・教授 河田 恵昭	16:25～17:25
3	閉会挨拶	REIC 副会長 早山 徹	17:25～17:30